

■野村宗十郎 印刷技術者。和文ポイント活字を創製し、新聞社の採用で急速に普及。

のむらそうじゅうろう

藩書調所・1857= 長崎に服部東十郎の長男として生まれる。

のち野村家の養子となる。

桜田門外変・1860= 3歳 :

薩長同盟・1866= 9歳 :

明治維新・1868=11歳 :

明治6年政変 1873=16歳 : 日本近代印刷の創始者本木昌造の新街私塾に学び、

初の民間工場1875=18歳 :

沖縄県編入・1879=22歳 : 大蔵省銀行局に出仕、

明治14年政変1881=24歳 :

秩父事件・1884=27歳 :

国立銀行検査官ののち、

帝国憲法発布1889=32歳 : 陽其二の推薦で、東京築地活版所に入社すると、

大津事件・1891=34歳 : \*(印刷雑誌)に、欧米のポイント活字システムを説明したわが国で初の論文を発表。

郡司千島探検1893=36歳 : 米国シカゴで開催の万国博覧会の視察に赴く小川一真に写真製版法の研究を依頼、持ち帰った網版の試験印刷に成功し、初期の写真製版印刷分野に寄与。

日清戦争始・1894=37歳 : 和文ポイント活字の製造を試み始め、

教科書疑獄・1902=45歳 :

日比谷公園・1903=46歳 : \*大阪で開催の第5回内国勲業博覧会に十数種の見本を出陳すると、{大阪毎日新聞社}は記者菊池幽芳の調査結果を紙上に載せるなど多大な関心を示し、率先して新聞印刷に採用、新聞各社が採用する端緒となる。

日露戦争終・1905=48歳 :

満鉄発足・1906=49歳 : 社長に就任。

韓国併合・1910=53歳 : \*(有朋堂文庫)が9ポイント活字を用い、出版印刷での先駆となる。

大逆事件判決1911=54歳 :

明治天皇没・1912=55歳 :

その後、

本格政党内閣1918=61歳 : 後藤朝太郎に活字の字画整理を、

ベルリン条約・1919=62歳 : 桑田芳蔵に活字の可読性の調査を依頼するなど、

大暴落・1920=63歳 :

原敬首相暗殺1921=64歳 :

活字の改良普及に貢献して、

治安維持法・1925=68歳 : 東京で没した。